

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4699400059
法人名	有限会社 ひだまり
事業所名	グループホーム 故郷
所在地	鹿児島県大島郡和泊町手々知名775-1番地 (電話) 0997-92-3222
自己評価作成日	令和2年2月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「グループホーム 故郷」の理念
 あなたが一番「ホッ」する場所
 あなたが一番「笑顔」になれる場所
 あなたが一番「あなたらしく」できる場所
 そんな場所作りを心がけます。

できるだけ、在宅生活のように各個人の生活リズムの中で、生活し、入居者の笑顔が見れるれるようなサービスを行い、ホームで生活してよかったですと言ってもらえるような施設を目指します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当施設は敷地内にデイサービスがあり、敬老会やクリスマス会等は、デイサービス利用者と合同で開催し、家族も参加している。長寿クラブや地域からの慰問も受入れて、地域の一員として親しく交流している。
- 毎月職員会を実施し、業務時間の変更や勤務表の調整など、職員の提案や意見で仕事がスムーズにできている。ケアに関しては車いすの座位保持の工夫や水分不足の利用者への摂取方法など、職員の提案やアイディアで解消し、運営に反映している。
- 本人や家族の要望や意見が気軽に相談できるように工夫し、運営に反映している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員研修の中で、理念の共有に努めています。	事業所の理念はホーム内に掲示し、職員会議で理念を確認している。「あなたらしく」を重視し、理念を基に支援している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームでの行事等には、区長等に案内状を送り、参加を呼びかけています。 また、外部からの慰問は積極的に受け入れ、入居者全員の参加を心がけています。	併設のデイサービス利用者と一緒にクリスマス会や敬老会を家族も含めて行っている。近隣住民や長寿クラブも気軽に来所し地域の一員として日常的に交流を行っている。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	特に行っていない。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事への参加の案内 同会社の同事業所と合同で、運営推進会議を行っています。	運営推進会議は今年度は5回実施した。現状報告を行い待機状況など報告している、災害訓練の連絡体制の必要性などの意見が出され検討している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居者の各種手続きを行う中で、連携を密にしています。	事業所の困難事例を相談してアドバイスを得ている。更新時の相談など行政との協力関係はできている。行政から研修の案内があり研修会に参加し情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	折について、業務内に話をしたり、年2回身体拘束についての研修会を行っています。	身体拘束をしないケアのマニュアルを基に年2回職員研修を行っている。ベッド柵使用の件などを検討し状況に応じて対処している。外出希望者には、見守り散歩と一緒に安心されるまで行っている。鍵の施錠は夜間のみしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	折について、業務内に話をしたり、年2回身体拘束についての研修会を行っています。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在6名の方が、福祉サービス利用支援をしており、折にふれて職員にも研修を行っています。			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居申し込みをされるご家族へパンフレットを配布し、入居確定時に、再度、重要事項説明書し、身体拘束等の説明をおこない、納得してもらい契約書で、同意をもらっています。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常的に面談時にご家族の意見を聞ける体制を整えています。「苦情相談窓口」を設置し、対応しています。 啓発は、パンフレット及び重要事項説明書等に関係機関の連絡先をお伝えしております。	意見箱は設置しているが、直接要望や意見が聞けるような雰囲気づくりに努めている。管理者と同様に職員が対処できるように改善し、家族の意見を運営に反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	施設長へその都度、管理者へは、職員会議で定期的に、業務中に、随時意見を聞くように心がけています。	職員の要望で勤務時間の変更を行い、勤務表での調整をする等、働き易い環境に努めている。ケアについてのアイディアで座位保持困難な利用者に対して支援の方法や水分摂取の仕方なども改善し意見を運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	全体的に働き易いように、状況に応じて、変更を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームの内外の研修を利用しスキルアップできるように、研修等の情報を提供し、参加できる環境を整えます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	有資格者は、各種団体を通して、交流・情報交換を行えるが、他の職員は、ホームの内外の研修にて、行えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に事前見学を積極的に受け入れているが、難しい場合は、ご家族に説明を行っている 入居後は、入居者の状況確認とご家族への連絡を密に図っている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	できるだけ、入居者の状況をご家族に説明し、早くホームになれるように努力している。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に、在宅での状況を関係者から聞き取りし、できるだけ早くホームでの生活に馴染めるように関わっています。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の状態に対して、サービスが提供できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との密な連絡をして、面会に来れる方は来られるように日用品の買物等は、積極的にお願いしています。 なかなか面会にこれない方には便り等で、状況を報告。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買物等へ出かけられる方は、外出させて、面会等は原則設けず、家族等からの外出・外泊は積極的に行ってています。	本人の外出希望はできるだけ対応するようにして、受診後にドライブで友人に会いに行ったり買い物をしている。家族の面会や外出・外泊などは、規制せずにを行い、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立を防ぐために、食事・おやつは、原則リビングにて、他の入居者と一緒に取るようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローシ、相談や支援に努めている	できるだけ、関係を断ち切らないように、連絡が無い場合は、こちらから連絡するなど、積極的に関わるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>できるだけ、本人の思いに寄り添えるように努力しています。</p>	<p>本人の思いを把握し、飲酒や喫煙等について、家族と話し合いながら対処している。ベランダから眺める景色を懐かしがっている様子に気づいた時は車いすでベランダに移動している。把握の困難な利用者は家族と話し合い、本人中心に支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>個々の情報収集は、こまめにおこない、安心してサービスを受けられるように努力しています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>介護記録や会話を通して、本人の情報を収集し、落ち着いて生活できる環境づくりに努めます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎日の申し送りを通して、個々の変化を確認し、状態の変化に応じて、介護計画の作成に努めています。</p>	<p>本人や家族の意向を事前に聞き、職員からの情報や提案などを加味し、現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に行い、現状に即した計画書を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の変化を介護支援経過に記載し、状態の変化が継続している場合は、介護方法の変更を検討します。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々の状態に応じて、本人に適した介護を行えるように努力します。</p>		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>面会や慰問などについては、原則、出入り自由にし、常に人の出入りがある状態を目指し、地域からの孤立しないように努めます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関に主治医となってもらい往診・緊急時の対応ができる体制を整えています。 本人・ご家族の希望や専門的な治療が必要な場合は、他の医療機関を受診させます。	入居時に本人や家族に希望を聞き、事業所の協力医がかかりつけ医となっている。他科受診も対処している。緊急時や往診の対応で適切な医療が受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関に主治医となってもらい往診・緊急時の対応ができる体制を整えています。 ホームと併設する通所介護事業所の看護婦さんと入居者の状態を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関に主治医となってもらい往診・緊急時の対応ができる体制を整えています。 退院前に、主治医より家族と一緒に退院の説明を受けてから、退院の準備を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく	協力医療機関に主治医となってもらい往診・緊急時の対応ができる体制を整えています。 状態の変化に応じて、緊急搬送を行うことや重篤時などの対応について、ご家族に契約時に説明し、確認している。	重度化や終末期についての説明は契約時に行っている。状態に応じ食事が摂れなくなった段階で再度確認をしている。家族の協力と医療機関の連携で看取りケアの支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応は、マニュアル化職員研修や職員会議にて、話している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防の協力の元、避難訓練及び通報等の訓練を行っている。	年2回消防署の協力の下で併設のデイサービスの職員と一緒に夜間想定を含め避難訓練を行っている。災害時の連絡体制の事なども検討している。災害時の飲料水や非常食を備蓄し、懐中電灯・電池・オムツなども準備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個々の人格の尊重・尊厳の尊重を理解するように努めています。指導監督</p>	<p>プライバシー確保についてのマニュアルを基に年1回、研修会を実施している。トイレ誘導の言葉かけには特に気を付けています。トイレのドアの閉め忘れなどに配慮したり、自室での面会などもプライバシーを損ねないようにしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>個々の思いを傾聴し、自己決定できるような環境を整えるように努めています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の生活リズムで安心・安全に生活できるような環境を整えられます。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>整髪や服装など個別に対応し、できるだけ、本人の意向をくみながら、対応するように努めます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については、厨房に作ってもらいながら、配膳を個々の状態に応じて手伝ってもらいたいながら、楽しく行うように努めています。	食事は併設の厨房で作っています。配膳やお盆拭き・台拭きなど職員と一緒に行っている。夏場はベランダでお茶を楽しんでいる。園庭で焼きいも・焼きじゃが芋などを作り、食事を楽しむ支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の形態や水分摂取などの変化があるときは、日々の記録に記載し、職員会議等で、検討します。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の状態にあった口腔ケアを行い、状態に変化のあるときは、職員会議等で検討します。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の状態・排泄リズムを把握し、失禁を少なくなるように、声かけ等を行い、自立できるような環境を整えるように努めます。	個々の排泄パターンで排泄リズムを把握し、声かけ誘導を行っている。居室に手すりを設置し、自立できる環境を整えている。2人介助で行うこともある。おむつからリハビリパンツへ移行できた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を利用し、個々の排便リズムを把握し、下剤等の利用を極力押さえ、本人が排泄できる環境を整えるように努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の状態に応じて、週3回以上入浴できる環境を作れるように努めます。	入浴は週3回を予定しているが、便失禁などでシャワー浴をする時もある。冬場は浴槽に浸かつたり、拒否する場合は、時間や人を変えるなど工夫し、個々に応じた入浴の支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の入眠リズムを把握し、安眠できる環境を作れるように努めます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の状態に合わせて、主治医の指示に沿うって、服薬介助を行います。状態の変化に合わせて主治医へ相談する体制を整えるように努めます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活が充実できるよう に、個々の行動を抑制せず、自ら行えることは、行ってもらえるような環境を作れるように努めます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出・外泊を希望されるご家族の意向に添えるように努め、職員の状況に応じて、一緒に外出できる体制を整えるように努めます。	友達に会いに行ったり、園庭の散歩やベランダに出て外気浴を楽しんだり、家族との外出や外泊・花見・正月の神社参り・夏祭りの参加など、家族や地域の方との協力で外出できるような支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者及びご家族の同意を得て、小額を預かり、必要に応じて、一緒に買物をするなどの体制を整えるように努めます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	外部からの電話は極力、本人につなぎ、本人が希望するれば電話を利用できる環境整えるように努めます。 その他通信手段についても制限しない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の居室について、本人及びご家族の判断で、使用しやすい環境を整えるように努めます。リビング等共同で使用する場所は、多数の入居者が不快にならない環境づくりに努めます。	リビングから各ユニットへの行き来を自由に行っている。壁にぬり絵や写真を飾り、温度・湿度が調整されている。ベランダから庭への出入りもでき、居心地よく過ごせる工夫がされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングを共有スペースとして、TVの設置等、全体で、安心、安全な環境づくりを心がけます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の居室については、本人及びご家族の判断で、使用しやすいように模様替え等を行い、生活し易い環境を整えられますように努めます。	居室は本人や家族の好みで設営している。位牌や神様などを祭っている。家族写真・テレビなどを置き、本人が居心地よく過ごせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、車椅子でも使用できるトイレ等、個々の入居者が安全に生活できる環境づくりに努めます。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆつたりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られて いる。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)		2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目: 28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目: 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない